

## 部 方 針 書

年度	部名	部長名
R7	市民環境部	床本 晋二

### 1 部の経営方針(部全体を俯瞰したマネジメントの目標)

No	項目(業務、組織、人材等に関するマネジメント目標)
1	未来志向のまちづくりを推進するため、総合計画等に基づく政策や施策について理解し、組織横断的に効率的・効果的な取組が展開できるよう、部局間連携に努める。また、持続可能な行財政運営には最少の経費で最大の効果をあげる創意工夫が必要であり、事務事業の点検を行いムダ・ムリ・ムラを排除して生産性を向上させる。
2	市民の安心安全な暮らしを守るため、巧妙かつ凶悪になっている犯罪の防止対策と飲酒運転やスピード超過等による交通事故防止について、警察や関係団体、地域団体と連携した取組を強化するとともに、人口減少にあっても地域コミュニティ団体を主体にした持続可能な地域運営を共創により実現する。
3	人権条例を制定することにより、宇部市民が一丸となって、一人ひとりが互いの人権を尊重し、相互に認め合える共生社会の構築を目指して、人権教育及び啓発に関する諸施策を総合的かつ計画的に推進する。また、若者や女性に選ばれる地方(=楽しい地方)づくりは、地方創生にとって待ったなしの課題とされており、女性の暮らしやすさを推進する。
4	市民サービスを適正かつ確実に提供するためには、住所や氏名をはじめとした基本情報を適切に管理するだけでなく、法改正やマイナンバーなどを用いたデジタル技術を正しく理解して運用する必要がある。このため、本庁と出先職場の職員が連携して、フロントヤード改革に挑戦するとともに知識習得やスキルアップを図る。
5	国が掲げる「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けては、産学公金が連携したオール宇部市での取り組みが必要であり、関係部署と協議しながら有効な手段を模索する一方、市民一人ひとりの環境に対する意識の醸成を図る。また、社会情勢の変化に対応した火葬場や墓地の維持管理に努める。
6	衛生的な生活環境を保全するためには、市民及び事業者から排出されるゴミやし尿などの廃棄物を適切に処理することは最優先事項であり、収集・運搬・処分について、将来的な予測を踏まえたコスト管理を行うとともに施設の更新に関して広域的な視点も含めて検討する。
人財育成・内部統制	目的の共有を図り、意識レベル(やる気)の向上とあわせて、心理的安全性を担保するためにアサーティブコミュニケーション(お互いを尊重しながら意見を交わすコミュニケーション方法)を取り入れて政策・施策等の議論を活性化する。また、人財育成(能力開発、能力の活用)と適材適所の役割分担並びに結果責任と実施責任を明確にして職務を遂行することにより組織目標の達成を図る。加えて、健康管理(メンタル及び高齢者)や挨拶ほか5Sの励行など職場環境を改善する。

# 課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	市民活動課	小林 圭一郎

## 1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

・地域が主体となり地域の課題解決や活性化に取り組めるように、市民、地域コミュニティ団体、事業者、市民活動団体、教育機関等との連携により、持続可能な地域運営を目指す。  
 ・犯罪の未然防止、交通事故防止、消費者被害者防止に取組み、市民が安全、安心に暮らすことができる社会づくりを目指す。  
 ・市民の安心安全な暮らしを守るため、巧妙かつ凶悪になっている犯罪の防止対策や飲酒運転やスピード超過等による交通事故防止について、警察や関係団体、地域団体と連携した取組を強化するとともに、人口減少にあっても地域コミュニティ団体を主体にした持続可能な地域運営を共創により実現する。

## 2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	うべポイントの活用や電子回覧板アプリの導入支援を進めることで、地域が主体的に取り組む地域づくりを支援し、市民が安心・安全に暮らすことができる社会を目指す。	前期実計	地域計画に基づく新たな取組支援件数【件】(累計)	R8 157件	212	240	未来4
2	防犯カメラの設置を進めることで、犯罪認知件数の減少を図り、市民が安心・安全に暮らすことができる社会を目指す。	前期実計	刑法犯認知件数【件/年】	R8 270件	699	317	未来1
3	うそ電話やSNS詐欺の被害削減を図るため、効果的な情報発信や啓発活動を行い、市民が安心・安全に暮らすことができる社会を目指す。	前期実計	消費生活(電話詐欺等)被害件数【件/年】	R8 0件	17	0	—
4	交通教室や通学路点検、警察と連携して交通要望の実現を目指すことで、市民が安心・安全に暮らすことができる社会を目指す。	前期実計	人身事故発生件数(自転車事故含む)【件/年】	R8 288件	330	300	—
人財育成・内部統制	各職位におけるマネジメントについて、方向性を共有しながらスキルアップを図る。 多様な業務を適切に処理するため、業務の効率化と複数担当化に取り組む。						

## 課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	人権・男女共同参画推進課	半田 操

### 1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

「人間が尊重される都市づくり」の市民宣言のもと、市民一人ひとりが互いの人権を尊重し合い、誰もが生きづらさを感じることなく相互に認め合える共生社会の実現を目指して、人権啓発に係る施策を推進する。  
男女共同参画社会の実現に向けて、「第4次宇部市男女共同参画基本計画」及び「第2次宇部市配偶者暴力等対策基本計画」に基づく施策の推進を図るとともに、女性の活躍推進をはじめとした男女共同参画等に係る施策を推進する。

### 2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	女性がいいきと自分らしく安心して暮らすことができる宇部市の実現		調査分析結果に基づく取組の方向性の決定	R7年度 現状分析結果 に基づく取組の 方向性決定	-	現状分析結果 に基づく取組の 方向性の決定	未来1
2	条例を様々な人権施策の根拠とし、市と市民関係者が意識共有を図りながら、人権施策を推進することで、誰もが生きづらさを感じることなく、市民一人ひとりの人権が尊重される共生社会が実現される。		条例の施行	R7年度 条例の施行	条例案の完成	条例の施行	未来1
3	女性活躍推進企業における女性管理職の割合が増え、女性が方針決定の場に参画できるようになることで、女性のエンパワーメント(社会的な力)が向上し、女性の社会参画が進む。	前期実計	女性活躍推進企業における 女性管理職の割合(%)	R8年度 30%	25.5%	28.5%	-
4	夫やパートナーが主体的に家事・育児・介護などの家庭生活へ参画することで、女性の家庭生活における負担が軽減されるとともに、男性の働き方の見直しにもつながり、男女ともワークライフバランスが向上する。	前期実計	男性の家事・育児参画促進事業の参加者数(累計) (人)	R8年度 3,500人	3,509人	4,000人	-
5	さまざまな人権問題について、市民一人ひとりが基本的人権の意義や内容、重要性についての理解を深めることで、お互いを思いやる心が育まれ人権侵害がなくなる。	前期実計	人権侵害(名誉き損・侮辱) をされた経験がある人の割合(%)	R8年度 5.0%以下	(参考値4%)	5.2%以下	-
人財育成・内部統制	「ほうれんそう」と「かくれんぼう」を使い分けながら、風通しのよい職場環境づくりに努め、課内の円滑なコミュニケーションを図る。						

# 課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	市民課	杉山 孝博

## 1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- 自治行政の基礎となる住民基本台帳や戸籍等に関する届出の受理・記載等を行い適正に管理する。
- 市民に寄り添った丁寧で的確な接遇により、各種証明書の交付や届出・申請の受付を正確かつ迅速に行う。
- 「行かない・待たない・書かない」窓口を実現し、市民の利便性向上と事務の効率化を図るため、窓口手続のデジタル化・ワンストップ化を推進する。

## 2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	窓口手続のデジタル化推進による 利用者の利便性向上と行政事務効率化	前期実計	コンビニ交付・スマート申請 の年間利用率(住民票:%)	R8年度 40%	37%	40%	未来5
2	マイナンバーカードの利活用による市民の利便性の向上	前期実計	マイナンバーカード 保有枚数率(%)	R8年度 100%	79.8%	85%	未来5
3	戸籍の適正な管理、行政手続の円滑化	その他	戸籍のフリガナ記載を確実に 実行する	R8年度 100%	-	本籍地が宇部 市の方への通 知・届出受理	-
人財育 成・内 部統制	デジタル・アナログの両面から業務改善を行い、職員の習熟度に応じた 配置をすることで、少人数でも業務継続が可能な体制づくり						

## 課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	フロントヤード改革戦略室	民谷有弘

### 1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

人口減少や少子高齢化が進行する中山間地域や郊外の支所等を中心に、職員不足をデジタル技術等で補いながら、行政サービスを高度化・オムニチャネル化することで市民サービスを維持し、ぴったりサービスを中心に行政手続のオンライン化を進めることで、市民の利便性を向上させる。また、書かないワンストップ窓口システムの導入にあわせて、窓口サービスの向上と効率化に取り組む。

### 2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	フロントヤード改革による住民満足度	前期実計	書かないワンストップ窓口、リモート窓口、DXコールセンター等における住民満足度	R9年度 80%以上	—	60%以上	未来5
2	フロントヤード改革による職員満足度	前期実計	書かないワンストップ窓口、リモート窓口、DXコールセンター等における職員満足度	R9年度 80%以上	—	60%以上	未来5
3	行政手続のオンライン申請率	前期実計	行政手続きのオンライン化の効果	R9年度 80%	R6年度 35%(見込)		未来5
4	データ分析による業務改善数	前期実計	AIによる業務改善提案に基づき実施する業務改善	R9年度 10件	—	2件	未来5
人財育成・内部統制	国のモデル事業に携わることで、継続的に能力や専門性を高め、意欲を持って生き生きと職務に従事できる人財を育てる。						

# 課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	環境政策課	田辺 義和

## 1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、再エネ・省エネ、環境教育等を推進し、環境負荷の削減、環境配慮及び自然共生社会の形成に取り組み、持続可能なまちの実現を図る。また、市営墓地や火葬場の適正な管理及び新火葬場・合同墓の整備に取り組むとともに、狂犬病の予防や動物愛護の推進等による良好な生活環境の維持向上を図る。

## 2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	新火葬場の供用開始により、今後、予想される火葬需要のピーク時においても安定した運営を図れるようにする。 また、合同墓の共用開始により、将来的な墓じまいなどの受け皿を確保する。	個別計画(宇部市新火葬場建設基本計画、合同墓整備に係る基本方針)	新火葬場・合同墓の整備・供用開始	供用開始 (R9)	整備運営事業者決定、造成設計完了、道路改良設計完了	新火葬場基本設計完了、造成工事完了、道路改良工事完了、合同墓基本設計完了	未来1
2	自然環境保全や生物多様性保全の重要性を理解し、保全活動を担う市民や事業者を増やし、自然共生社会の形成を図る。	前期実計	自然観察会や環境保全活動への参加者数(人)	2,240 (R8)	1,473	2,140	未来3
3	地球温暖化の問題を認識し、自発的に環境配慮行動を実践できる人材を増やし、環境配慮社会の形成を図る。	前期実計	環境学習講座の参加者数(人)	12,000 (R8)	11,518	11,800	未来3
4	温室効果ガス排出量の削減により、地球温暖化の防止に寄与する。	前期実計	温室効果ガス排出量(民生部門)(千t-CO2)	432 (R8)	472	447	
人財育成・内部統制	各職員への声かけ、日々の健康観察、早めの相談対応等を行い所属職員の心理的安全性を確保する						

# 課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	廃棄物対策課	中村 隆行

## 1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

3Rとごみの適正処理を推進し、一般廃棄物排出量の削減と循環型社会の形成を図る。  
 市民・事業者の3R意識の向上を図り、市・市民・事業者の共創による「持続可能な資源循環のまちづくり」を構築する。  
 し尿・じんかいの迅速かつ円滑な収集体制を構築し、廃棄物の適正処理を推進する。

## 2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	環境負荷の低減及びごみ処理経費の圧縮	前期実計	市民1人1日当たりのごみの総排出量	910g (R8年度)	927g	924g	—
2	環境負荷の低減及びごみ処理経費の圧縮	前期実計	ごみのリサイクル率	33.3% (R8年度)	30%	33%	—
人財育成・内部統制	実務能力や接遇マナーの向上、公務員倫理の理解などのレベルアップに努め、特に任用替え職員については、早期習得に向け各種研修への参加など、本人に負担とならないよう支援を行う。						

## 課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	環境保全センター施設課	正木 弘

### 1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

ごみ焼却施設、リサイクルプラザ、圧縮梱包施設、し尿処理施設及び埋立処分地の効率的な維持管理を行い、搬入される一般廃棄物を適切に処理する。

### 2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	環境保全のための基準を遵守した上で、環境保全センターに搬入される一般廃棄物を安全・安定的に処理する。	その他	安全稼働と安定処理 (各種基準の遵守)	基準値遵守 100%	基準値遵守 100%	基準値遵守 100%	
2	ごみが減量する中、処理施設は広域化・集約化し更新する。	その他	関係市町と情報共有・ 共通認識	R8年度 100%	0%	100%	
人財育 成・内 部統制	安全操業のための凡事徹底						